

活動報告 2

日本人のための日本語マニュアル

横井 俊夫

東京工科大学 名誉教授

／一般財団法人日本特許情報機構特許情報研究所 顧問

日本人のための日本語マニュアル

2015年2月24日

日本語マニュアルの会

「日本人のための日本語マニュアル」が必要である

日本人は、日本語を使えるが日本語の仕組みを十分に知っているわけではない。日本語文章の分析能力を養成するための「日本人のための日本語マニュアル」が必要である。本年9月上梓を目標に「日本語マニュアルの会」がマニュアル制作を進めている。

日本語マニュアルの会

(とりあえず年齢順に)

横井俊夫 (東京工科大学名誉教授、Japio 特許情報研究所顧問)

石崎 俊 (慶応大学名誉教授)

佐野 洋 (東京外国語大学教授)

石黒 圭 (一橋大学教授)

猪野真理枝 (翻訳家、語学教材作家)

烏日哲 (ウリジャ) (一橋大学国際教育センター非常勤講師)

「日本人のための日本語マニュアル」の構成

『日本人のための日本語マニュアル

- 言葉の仕組みを学び、外国語との対照を通じて日本語スキルを磨く - 』

はじめに マニュアルの目的、マニュアルの構成と利用の仕方

1章 文書・文章ライティングのモデルプロセスを学ぶ

2章 情報を表し情報を伝える言葉の仕組みを学ぶ

- 日本語と外国語とを照らし合わせる -

3章 「表す日本語」へと言い換え、「伝える日本語」へと言い換える

4章 「訳せる日本語」へと言い換える

5章 コンピュータの支援機能を活用する - 文章校正ソフトと機械翻訳ソフト -
おわりに さらなるスキルアップのために - 参考資料 -

それぞれがそれぞれのライティングマニュアルを

産業日本語を定着させるためには、それぞれの機関・組織・業界・分野がそれぞれの文書目的に沿ったライティングマニュアルを整備しなければならない。本マニュアルが各所での整備作業の一助となることを願うと共に、そうなるための効果的な仕組を用意する。

産業日本語活動のための仕組作りに向けて

- (1) **ライティングルール（多くは、言い換えルール）記述の共通フォーマット**
 - 人が理解し易いルール記述から、コンピュータ用の形式的ルール記述まで
 - マニュアルのルール記述から、文書処理ソフトのインタフェース記述まで
 - スキーマ的なルール記述から、事例的なルール記述まで
- (2) **「日本人のための日本語マニュアル」のライティングルールの公開**
 - 日本語マニュアル制作のソーシャルネットワーク
 - ライティングルールの共有知化
 - 老若協創のモデル作り
- (3) **産業日本語ガイドライン策定の提案**
 - それぞれのライティングマニュアル整備のためのガイドライン
 - ライティング支援ツール開発のためのガイドライン
 - 統合的な文書作成・再利用環境整備のためのガイドライン

なぜ、日本人に日本語のマニュアルが必要なのか

- 「使える」と「知っている」は別、「知って使える」のが一番
- 身体能力の基本は暗黙知、使えるが知っているわけではない
 - 身体能力の高度化、障害の克服、コンピュータ化に対応するには、身体能力の仕組を知らねばならない
 - 言語能力（特に、会話能力）も身体能力のひとつ
- 言語教育における課題
 - 国語教育は、重要な日本語文化・日本文化の教育が主眼、日本語のツールスキルとしての教育が希薄

- 国語教育と英語教育との間に、言葉のスキル教育としての連携が希薄

なぜ、今、日本語、そして、日本語マニュアルなのか

(1) 潜在的ニーズの高まり

- 産業活動のグローバル化 →世界へ日本語を開く
- 産業活動の構造変化 →ジャーゴン化を排し、分野間に日本語を開く
- 多様なメディア連携の環境 →メディア間に日本語を開く
- 産業活動の共通インフラとなる ICT 環境 →コンピュータに日本語を開く

(2) 潜在的ニーズを顕在的ニーズへ

- 日本語か英語かの二者択一を排し、複合的な社内言語システムの整備へ
- 日本語で考え、英語で伝え、さらに、中国語等々で伝える
- 実感できるメリットを提示する

(3) 日本語マニュアル整備への新たな基盤

- 言語学における進展、日本語教育における進展、言語処理における進展
- 諸成果を踏まえることによって、日本語トレーナーのスキル確立

産業文書・ビジネス文書

(1) 顧客サービス文書

ユーザマニュアル、社外 Web

(2) 業務文書

業務連絡文書、業務報告書、業務提案書、議事録、社内 Web、社内メール、社内 SNS

(3) 技術文書

開発文書、障害対応文書、マニュアル（業務、操作、運用）、成果文書（技術報告書、発明提案書、学術論文）

(4) 法的文書

開示知財文書（特許、実用新案、商標、意匠）、守秘知財文書、契約書、規約・定款、コンプライアンス関連文書

文書と文章

文書 (document) の構造

それぞれの目的に沿った文書記載項目の構造、そして、記載項目を埋めて項目の内容となるのが文章

文章 (text) の構造

文書の記載項目の規定によって、一文、一語句の場合もあるが、基本の構造は、

文章 (text)

段 (paragraph)

文 (sentence)

語 (word)

文章特性に則した日本語ライティング

(1) 印象深さを重視する

読み手が共通に持つ知識や推論に大きく委ねることを前提に印象深くテンポ良く伝える日本語。ユーザマニュアルや報道記事などの顧客サービス系の文章特性。

(2) 正確さを重視する

読み手の知識や推論に依存する部分を確実なものに限定し、誤解が生じないように正確に効率よく伝える日本語。学術文書、技術文書、業務文書等々の文章特性。

(3) 厳格さを重視する

主旨に反する読み方ができないよう解釈を限定し厳格に伝える日本語。法的文書の文章特性。

(4) 情感の豊かさを重視する

読み手の感興を刺激し、解釈を読み手の創造性に委ね、情感豊かに伝える日本語。文芸作品の文章特性。

(5) 対話性を重視する

読み手からの即時応答を前提とし書き言葉の記録性と話し言葉の即応性を併せ持つ日本語。電子メールや SNS メッセージなどの文章特性。

文書・文章ライティングのモデルプロセス (図 1 を参照)

「試みる日本語」

思考のツールとしての機能に重きを置いた日本語である。思考のダイナミズムを加速する柔軟さ、時には、いい加減さが求められる。

「表わす日本語」

思考の精密化というプロセスを伴って、表現対象に注視し、表現対象を適切に確定し、表現対象を的確に表現する日本語である。

「伝える日本語」

読み手（読者）の知識や読み手の立場を考慮し、読み手が効率良く間違いなく読み取れるようにする日本語である。

「訳せる日本語」

外国語へ直訳できる日本語である。文を超える構成成分に関しては線形翻訳できるとし、連語以下の非線形成分は対訳辞書に登録されているとし、焦点を文レベルに絞る。

「機械が訳せる日本語」

容易な後編集を伴って正しく機械翻訳できる日本語である。短文化と適切な辞書登録が必要である。

「機械が探せる日本語」

「機械が約せる日本語」

情報を表わし伝える言葉の仕組

言葉の仕組を、言語学の解説としてではなく、文章実務のための文章分析スキルとなるように説く

それぞれの言語に共通となる仕組

「絵にも描けない美しさ」、この美しさを絵に描くことは出来ないが、
「言葉に言い表せない驚き」、この驚きは言葉で言い表せている。何故か？

-
- ① 記号性・分節性・概念性・範疇性・高階性
 - ② 線状性（音声言語が優位）
→情報（四次元）と言語表現（一次元）間の相互マッピング
 - ③ 表現の経済性（読み手（聞き手）の知識を前提とした表現）
 - ④ 表現メディア間の連携性（多様な表現メディアを結びつける機能）
 - ⑤ 柔軟な規則性（プロトタイプと周辺事例）

それぞれの言語に特有の仕組

「今日書店で先生が本を買う。」

“The teacher buys a book in the bookstore today.”

「老師今天在書店買書。」

これら3文の違いは？

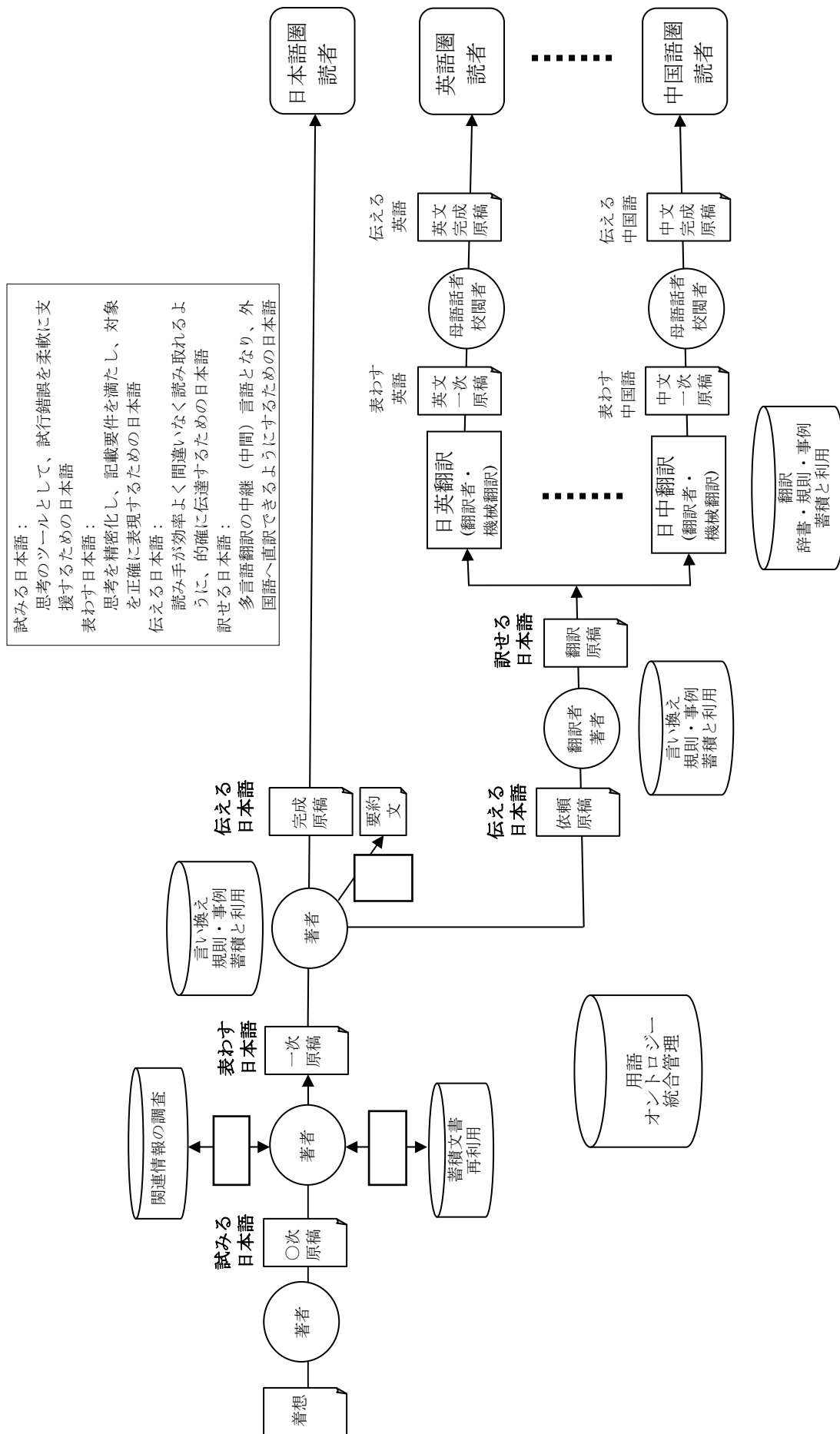
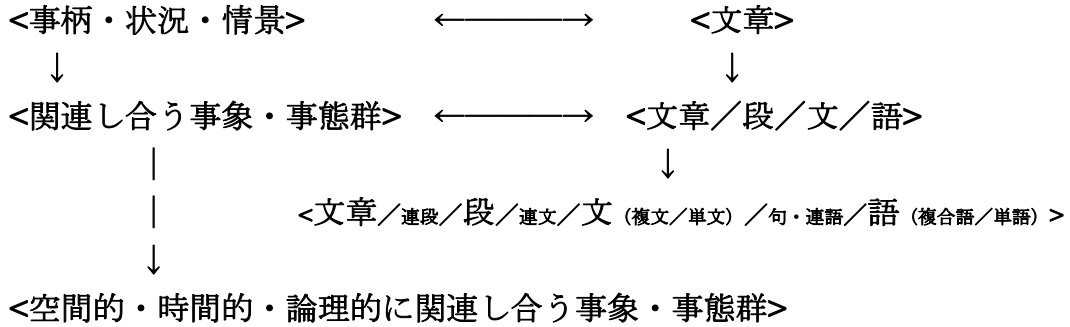


図 1. 文書・文章ライティングのモデルプロセス

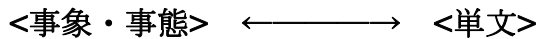
それぞれの言語に共通となる仕組

情報：四次元に展開するひとつの事柄（物事の様子・事情・内容）

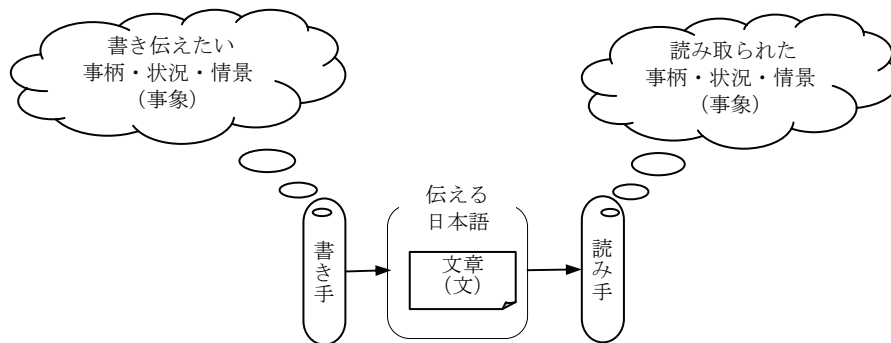
表現：一次元（書き言葉は二次元的表現要素を含む）に展開する文章



まずは、



明晰な情報伝達



<書き伝えたい事柄・状況・情景 (事象)> = <読み取られた事柄・状況・情景 (事象)>
しかも、効率良く読み取れること

事象を構成するもの

事象そのもの（事象の客観的側面）

<コト> + <係わるモノ> + <状況を構成するモノ> + <アスペクト性> + <テンス性>

書き手の捉え方（事象の主観的側面）

<モダリティ性> + <取り立て> + <強調・焦点> + <否定> + <読み手の位置づけ方>

読み手への伝え方（事象の談話的側面）

<既出情報・旧情報>+<未出情報・新情報>

それぞれの言語に特有の仕組

まずは、事象の言語表現に関して

事象そのものの表現法

通常、日本語は SOV、英語や中国語は SVO といわれていること

書き手の捉え方の表現法

通常、態度表現、待遇表現等々といわれていること

読み手への伝え方の表現法

通常、情報構造といわれていること

事象そのものの表現法

日本語

<何時><何処>で<誰>が<何>を<どう>する/<どう>した/<どう>している。

英語

<誰> <どう> /<どう>ed / will <どう> / be <どう>ing <何> in <何処> <何時>.

中国語

<誰><何時>在<何処><どう> /<どう>了<何>。

読み手への伝え方の表現法

<既出情報・旧情報>を前方に、<未出情報・新情報>を後方には言語共通

日本語

<主題>：<既出情報・旧情報>←場の設定

<題述>：<未出情報・新情報>←場における事象

英語

<主語>：<既出情報・旧情報>←一定冠詞

<述部>：<未出情報・新情報>←不定冠詞

主語卓立言語と題目卓立言語

[+題目卓立 ー主語卓立] 言語：中国語、ラフ語、リス語

[ー題目卓立 +主語卓立] 言語：印欧語族、ニジェール・コンゴ語族、セム語族

[+題目卓立 +主語卓立] 言語：日本語、韓国語

[ー題目卓立 ー主語卓立] 言語：タガログ語、イロカノ語

資料 1：共通に参照する資料

日本語マニュアルの会のメンバーがマニュアル制作に際して、共通に参照する資料であり、より高いスキルアップを目指すマニュアルユーザーへの推奨資料である。

(1) 日本語マニュアルの会のメンバーの執筆文献

- 横井俊夫：翻訳できる日本語、Japio Year Book 2010、一般財団法人日本特許情報機構、pp.154-159 (2010年11月)
- 横井俊夫：産業日本語における日本語の諸相 - 文書の作成・利用を高度化する新たな文書工学の仕組 - 、Japio Year Book 2011、一般財団法人日本特許情報機構、pp.286-295 (2011年11月)
- 横井俊夫：言葉をデザインする - デザインされた産業日本語 - 、Japio Year Book 2012、一般財団法人日本特許情報機構、pp.298-308 (2012年11月)
- 横井俊夫：構造化言語 - 知を構造化する言葉の構造化技術 - 、ISEC10周年記念シンポジウム予稿集、pp.25-61 (2013年6月)
- 横井俊夫：産業日本語のガイドライン策定に向けて、Japio Year Book 2013、一般財団法人日本特許情報機構、pp.302-307 (2013年11月)
- 横井俊夫：日本人のための日本語マニュアル、Japio Year Book 2014、一般財団法人日本特許情報機構、(2014年11月)

- 石黒 圭：よくわかる文章表現の技術 I 表現・表記編【新版】、明治書院 (2012年11月)
- 石黒 圭：よくわかる文章表現の技術 II 文章構成編【新版】、明治書院 (2009年11月)
- 石黒 圭：よくわかる文章表現の技術 III 文法編、明治書院 (2014年3月)
- 石黒 圭：よくわかる文章表現の技術 IV 発想編、明治書院 (2006年9月)
- 石黒 圭：よくわかる文章表現の技術 V 文体編、明治書院 (2007年10月)
- 石黒 圭：文章は接続詞で決まる、光文社新書、光文社 (2008年9月)
- 石黒 圭：スッキリ伝わるビジネス文書「一読必解」21のルール、光文社 (2010年2月)
- 石黒 圭：「予測」で読解に強くなる！、ちくまプリマー新書、筑摩書房 (2010年7月)
- 石黒 圭：この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本、日本実業出版社 (2012年2月)
- 石黒 圭：正確に伝わる！わかりやすい文書の書き方、日本経済新聞出版社 (2012年12月)
- 石黒 圭：「うまい！」と言わせる文章の裏ワザ、河出書房新社 (2014年5月)

- 猪野真理枝、佐野 洋著、馬場 彰監修：英作文なんかこわくない - 日本語の発想でマスターする英文ライティング、東京外国語大学出版会（2011年4月）
- 猪野真理枝、佐野 洋著、馬場 彰監修：英作文なんかこわくない II 連体修飾編 - 日本語の発想でマスターする英文ライティング、東京外国語大学出版会（2014年4月）
- 猪野真理枝、佐野 洋著、馬場 彰監修：英作文なんかこわくない III 連用修飾編 - 日本語の発想でマスターする英文ライティング、東京外国語大学出版会（2014年予定）
- 猪野真理枝、佐野 洋著、馬場 彰監修：英作文なんかこわくない IV パラグラフ編 - 日本語の発想でマスターする英文ライティング、東京外国語大学出版会（2015年予定）

- 安西、石崎他：認知科学ハンドブック、共立出版（1995年10月）
- 石崎：自然言語処理、昭晃堂（1995年5月）
- 天野、石崎他：自然言語処理、オーム社（2007年10月）
- 言語処理学会編(石崎編集委員長)：言語処理学事典、共立出版（2009年12月）
- 言語処理学会編(石崎編集委員長)：デジタル言語処理学事典、共立出版（2010年6月）

(2) 代表的なライティング指南書

- 木下是雄：理科系の作文技術、中公新書、中央公論新社（1981年1月）
- 本田勝一：日本語の作文技術、朝日文庫、朝日新聞出版（1982年2月）
- 阿部圭一：明文術－伝わる日本語の書き方、NTT出版（2006年8月）
- メアリ・K・マカスキル、片岡秀樹訳・解説：NASAに学ぶ英語論文・レポートの書き方－NASA SP-7084 テクニカルライティング、共立出版（2012年2月）

(3) 日本語に関する事典・辞典

- 北原保雄監修：岩波 日本語使い方考え方辞典、岩波書店（2003年5月）
- 森田良行：助詞・助動詞の辞典、東京堂出版（2007年9月）
- 森田良行：動詞・形容詞・副詞の事典、東京堂出版（2008年10月）
- 言語処理学会編：言語処理学事典、共立出版（2009年12月）
- 辻 幸夫編：新編 認知言語学キーワード事典、研究社（2013年10月）
- 日本語文法学会編：日本語文法事典、大修館書店（2014年7月）
- 佐藤武義、前田富祺編集代表：日本語大事典、朝倉書店（2014年11月）

(4) 外国人のための日本語教育の教師用ハンドブック

- 松岡 弘監修、庵 功雄、高梨信乃、中西久美子、山田敏弘著：初級を教える人のための日本語文法ハンドブック、スリーエーネットワーク（2000年5月）
- 白川博之監修、庵 功雄、高梨信乃、中西久美子、山田敏弘著：中上級を教える人のた

めの日本語文法ハンドブック、スリーエーネットワーク（2001年10月）

（5）日本語と外国語（特に、英語）との対照

- 角田太作：世界の言語と日本語 改訂版 - 言語類型論から見た日本語、くろしお出版（2009年5月）
- 吉村公宏：英語世界の表現スタイル 「捉え方」の視点から、青灯社（2011年5月）
- 菅井三実：英語を通して学ぶ日本語のツボ、開拓社言語・文化選書、開拓社（2012年10月）
- 岡 智之：場所の言語学、ひつじ研究叢書<言語編>、ひつじ書房（2013年2月）

- 影山太郎編：日英対照 動詞の意味と構文、大修館書店（2001年3月）
- 影山太郎編：日英対照 形容詞・副詞の意味と構文、大修館書店（2009年4月）
- 影山太郎編：日英対照 名詞の意味と構文、大修館書店（2011年11月）

（6）中国語文法への入門書

- 瀬戸口律子：完全マスター 中国語の文法、語研（2003年6月）
- 相原 茂：はじめての中国語「超」入門、ソフトバンク新書、ソフトバンク・クリエイティブ（2007年4月）

（7）日本語の表記に関する規範

- 小学館辞典編集部編：句読点、記号・符号活用辞典、小学館（2007年9月）
- 日本エディタースクール編：日本語表記ルールブック 第2版、日本エディタースクール出版部（2012年3月）
- 三省堂編集所編：新しい国語表記ハンドブック第6版、三省堂（2013年9月）

資料 2：日本語文章力に関する出版物

【単行本】

2013年

日垣 隆：文章力飛躍最終兵器 第1弾 基礎編(2013/8/17)
日垣 隆：文章力飛躍最終兵器 第2弾 実践編(2013/8/17)
日垣 隆：文章力飛躍最終兵器 第3弾 仕上げ編(2013/8/17)
米村貴裕：天使の法則：役立つ文章の世界へ(2013/8/9)
坪田知己：共感文章術シリーズ1 読まない人に読ませる共感文章術 ネット時代の文章術・基礎編(2013/8/6)
入部明子：パワーライティングの入門：説得力のある文章を書く技術(2013/8/5)
木山泰嗣：頭が10倍よく見える文章の書き方：弁護士が書いた「伝わる」文章術(知的生きかた文庫)(2013/7/22)
福嶋隆史：“ふくしま式 200 字メソッド”で「書く力」は驚くほど伸びる!(2013/7/19)
高橋俊一：決定版! すっきり書ける文章のコツ 80(2013/6/28)
小林洋介：できる大人の文章力教室(2013/6/27)
木暮太一：伝え方の教科書(2013/6/25)
中野 巧：6分間文章術一息を伝える教科書(2013/6/21)
イケダハヤト：武器としての書く技術(2013/6/19)
小野泰央：創造するための文章(2013/6)
中谷彰宏：「ひと言」力。サツと書いて、グッとくる 99 の方法(2013/5/28)
前田安正：きっちり! 恥ずかしくない! 文章が書ける(2013/5/23)
高橋廣敏：7日で身につく 正しい文章の書き方(2013/5/21)
出口 旺：あなたも突然、上手に書けるようになる 7日間「大人の論理エンジン」で本物の文章力が身につく(経済界新書)(2013/5/10)
安藤智子：電子書籍を出すには? 知っておきたい文章術 どんな原稿も必ず格上げする「秘伝」公開(2013/5/9)
新星出版編集部：図解まるわかり 文章術の基本—ビジネス力をグンと上げる(2013/5)
平野友朗：ちょっとした工夫で仕事がぐんぐんはかどるビジネスメール術—仕事ができる人がやっている 43 のルール(2013/4/19)
山口拓朗：文章が変わると人生が変わる! 文章力アップ 33 の方法(2013/4/17)
結城 浩：数学文章作法 基礎編(ちくま学芸文庫)(2013/4/11)
杉山美奈子：ビジネスメールの作法と新常識 会社では教えてくれない気くぼりメール術(アスキー新書)(2013/4/10)
高橋源一郎：ほくららの文章教室(2013/4/5)
村岡貴子、因 京子、仁科 喜久子：論文作成のための文章力向上プログラム—アカデミック・ライティングの核心をつかむ(2013/4/5)
神垣あゆみ：言いたいことが5秒で伝わるメール術(2013/4)
扇田麻里子：読まれるための文章読本(2013/3/29)
佐渡島紗織、太田 裕子：文章チュータリングの理念と実践—早稲田大学ライティング・センターでの取り組み(2013/3/28)
赤羽博之：書くスキル UP すぐできる! 伝わる文章の書き方 確実に文章力がつく! 7つのステップ(2013/3/20)
外岡秀俊：「伝わる文章」が書ける作文の技術(2013/3/12)
銅直信子、坂東実子：大学生のための文章表現&口頭発表練習帳(2013/3/8)
園部俊晴：医療・福祉で役立つ「効果的な文章の書き方」入門講座(医療・福祉で働く人のスキルアップシリーズ)(2013/3/1)
前田拓朗：ソーシャルメディアで伝わる文章術(2013/3)
山口佑朗：ダメな文章を達人の文章にする 31 の方法 なぜあなたの文章はわかりにくいのか? 文章の書き方が分かる本(縦組版) (2013/2/18)
吉岡友治：いい文章には型がある(PHP 新書)(2013/2/17)
中川路曲紀：ビジネスメール文章術(2013/2/16)
竹内政明：「編集手帳」の文章術(文春新書)(2013/1/20)

2012年

福澤一吉、にしかわ たく：論理的に読む技術 文章の中心を理解する“読解力”強化の必須スキル(サイエンス・アイ新書)(2012/12/18)
岡本 真：ウェブでの伝わる文章の書き方(講談社現代新書)(2012/12/18)
石黒 圭：正確に伝える! わかりやすい文書の書き方(2012/12/13)
うすたけ：(白井経理)：ハッター文章術(2012/12/12)
出口 旺：出口 旺の論理的に書く技術(ソフトバンク文庫)(2012/11/22)
倉島保美：論理が伝わる 世界標準の「書く技術」(ブルーバックス)(2012/11/21)
外岡秀俊：「伝わる文章」が書ける作文の技術 名文記者が教える 65 のコツ(2012/10/19)
久恒啓一：図で考えれば文章がうまくなる(2012/10/5)
プレゼンメントムック、書き方の基本 まねて書ける! OK 文例集—ビジネス文書からメール、ツーカー、フェイスブックまで(2012/10/1)
山口拓朗：ダメな文章を達人の文章にする 31 の方法 なぜあなたの文章はわかりにくいのか? 文章の書き方が分かる本(横組版) (2012/10/1)
栗倉敏貴：介護職の文章作成術(2012/9/10)
阿部敏久：シンプルに書く! 伝わる文章術(2012/9/6)
校條 剛：朝 5 分! 読むだけで文章力がグッと上がる本(ナガオカ文庫)(2012/7/20)
山崎政志：文章力の「基本」が身につく本：伝わる文章が書ける 76 の簡単テクニック(2012/6/26)
石崎秀穂：あなたの文章が(みるみる) わかりやすくなる本(2012/5/8)
樺沢紫苑：SNS の超プロが教える ソーシャルメディア文章術(2012/4/4)
戸野るな、戸田美紀、小谷俊介、カトウナオコ：世界一やさしい「人脈」と「収入」をザクザク生み出すブログ文章術(2012/3/26)
メアリ・K・マカスキル著、片岡英樹訳・解説：NASA に学ぶ英語論文・レポートの書き方-NASA SP7084 テクニカルライティング-(2012/2/25)
木暮太一：誰にでも伝わる 文章力のつくり方(2012/2/24)
石黒 圭：この 1冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本(2012/2/23)
山本ゆうじ：IT 時代の実務日本語スタイルブック(2012/2/16)
木山泰嗣：センスのよい法律文章の書き方(2012/2/8)
西田みどり：「型」で書く文章論—誰でも書けるレポート講座(2012/2)
古賀史健：20歳の自分に受けさせたい文章講義(星海社新書)(2012/1/26)
小笠原信之：伝わる! 文章力が豊かになる本(2012/1/7)

2011年

高橋俊一：すっきり! わかりやすい! 文章が書ける(2011/12/20)
平野友朗：お客様から選ばれるウェブ文章術(2011/11/19)
苔米地英人：人を動かす【超】書き方トレーニング 劇的な成果が手に入る 驚異の作文術(2011/11/16)
堀内伸浩：あたりまえだけどなかなか書けない 文章のルール(アスカビジネス)(2011/10/18)
野内良三：伝える! 作文の練習問題(2011/9/30)
近藤勝重：書くことが思いつかない人のための文章教室(幻冬舎新書)(2011/9/29)
上阪 徹：文章は「書く前」に 8割決まる(2011/9/21)

堀井憲一郎：いますぐ書け、の文章法(ちくま新書)(2011/9/5)
木山泰嗣：もっと論理的な文章を書く(2011/8/27)
西村充己：「ポイント図解」論理的な文章の書き方が面白いほど身につく本「わかりやすい文章」を書くための基本ポイント 35(2011/8/26)
西川真理子：図解 栄養士・管理栄養士をめざす人の文章術ハンドブック：ノート、レポート、手紙・メールから、履歴書・エントリーシート、卒論まで(2011/8/14)
吉村公宏：英語世界の表現スタイル-「捉え方」の視点から(2011/5/30)
藤原智美：文は一行目から書かなくていい—検索、コピー時代の文章術(2011/5/27)
小田順子：誰も教えてくれなかった公務員の文章・メール術(2011/5/19)
樋口裕一：文章力の鍛え方(中経の文庫)(2011/4/27)
高橋フミアキ：150字からはじめる「うまい」と言われる文章の書き方(2011/4/21)
高橋フミアキ：伝わる文章の書き方(2011/4/15)
猪野真理枝、佐野 洋・英作文なんかこわくない 日本語の発想でマスターする英文ライティング(2011/4/15)
山崎康司：入門 考える技術・書く技術(2011/4/8)
一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会：日本語スタイルガイド第2版(2011/4/1)
黒本登志夫：知的文章とプレゼンテーション—日本語の場合、英語の場合(中公新書)(2011/4)
酒井聡樹：100ページの文章術—わかりやすい文章の書き方のすべてがここに—(2011/3/10)
村田喜代子：縦横無尽の文章レッスン(2011/3/4)
田中 豊：法律文書作成の基本 Legal Reasoning and Legal Writing(2011/2/20)
上原広嗣、石原知樹、寄藤平平：文章には「道」がある 10代 20代のための日本語を読む技術 Part1(2011/2/9)
黒田龍之助：大学生からの文章表現 無難で退屈な日本語から卒業する(ちくま新書)(2011/2/9)
杉山博亮：論文答案作成教室—法律的文章を書くコツ(2011/2)
小笠原信之：伝わる文章力が身につく本(2011/1/29)
飯間浩明：伝わる文章の書き方教室 書き換えトレーニング 10講(ちくまブリーディング新書)(2011/1/7)

2010年

齋藤 孝：誰も教えてくれない人を動かす文章術(講談社現代新書)(2010/12/17)
上阪 徹：書いて生きていく プロ文章論(2010/11/26)
堀内伸浩：ビジネス文章 5ステップ上達法—今の自分の文章がわかる診断テスト付き(2010/9)
阿部敏久：明快に書く! 心をつかむ文章力(知的生きかた文庫)(2010/9/21)
白井由紀：仕事の文章は3行でまとめる(2010/8/25)
成川豊彦：【決定版】成川式 文章の書き方(PHP ビジネス新書)(2010/8/19)
磯崎陽輔：分かりやすい公文書の書き方 改訂版(2010/8/6)
有田憲史：「売る」文章 51 の技—説得力あるキャッチコピーとロングコピーの作り方(2010/8/3)
阿部敏久：文章力の基本 100題(2010/6/19)
スティーン・D・スターク、小倉京子：訴訟に勝つ実践的文章術(2010/6/18)
松枝史明：「売れる」読ませる、読ませる文章が書ける 実践的ライター入門(2010/6/4)
日経 PC21：サクサク作成! エクセル文書ワザ 99(日経ビジネス人文庫)(2010/6/2)
藤田英時：メール文章力の基本 大切だけど、だれも教えてくれない 77 のルール(2010/5/27)
野内良三：日本語作文術(中公新書)(2010/5/25)
高橋恵治：あたりまえだけどなかなかできない文章のルール(アスカビジネス)(2010/5/17)
芦永奈雄：コミュニケーション力を高める文章の技術(フォレスト 2545 新書)(2010/5/7)
橋本淳司：「箇条書き」を使ってまとめた量でもラクラク書ける文章術(2010/4/16)
田邊善治：電力社員の文章講座(2010/3)
内藤直人：心理学者が教える 思いどおり人を動かすブラック文章術(2010/2/23)
近藤勝重：早大院生と考えた文章がうまくなる 13 の秘訣(2010/1/25)
松下健次郎、山本高樹、白根ゆたなほ：これは「効く!」Web 文章作成&編集術逆引きハンドブック(2010/1/21)

2009年～

石黒 圭：よくわかる文章表現の技術 I～V(2009/11～2005/10)
原田豊太郎：理系のための英語「キー構文」46(2009/9/20)
阿部敏久：文章力の基本(2009/8/1)
三浦順治：英語流の説得力をもつ 日本語文章の書き方(2009/6/11)
中井浩一：正しく読み、深く考える 日本語論理トレーニング(講談社現代新書)(2009/2/19)
阿部圭：明文術 伝わる日本語の書きかた(2006/7/25)
照屋華子：ロジカル・ライティング 論理的にわかりやすく書くスキル(2006/4/6)
柳瀬和明：「日本語から考える英語表現」の技術(2005/3/20)
高橋昭男：日本語テクニカルライティング(2004/5/26)
藤沢晃治：「分かりやすい文章」の技術—読み手を説得する 18 のテクニック(ブルーバックス)(2004/5/21)
野内良三：実践ロジカル・シンキング入門—日本語論理トレーニング(2003/2/1)
原田豊太郎：理系のための英語論文執筆ガイド ネイティブとの発想のズレはどこに?(2002/3/20)
片岡英樹：技術英文作成に必須! テクニカル・ライティング 50 のルール(2001/5/1)
木下是雄：理科系の作文技術(中公新書)(1981/1)

【雑誌】

PRESIDENT (プレジデント)
2013年 8月 19日別冊：うまい文章の全技術
2013年 4月 1月号：資料の作り方
2012年 7月 16日号：1億稼ぐ人の話し方
2012年 4月 16日号：一流の思考法 落第思考法
2012年 3月 19日号：「すべらない」書き方
週刊ダイヤモンド
2013年 8月 24日号：伝える技術
2012年 4月 7日号：「話し方」入門
2012年 3月 3日号：身につく! 英語&中国語
2012年 1月 14日号：ビジュアル活用仕事術
週刊東洋経済
2012年 6月 2日号：脱 TOEIC の英語術
ニューズウィーク日本版
2013年 7月 23日号：TOEFL 時代を制する英語術